A4判縦。上下20mm、左右20mmの余白。本文11ポイント。投稿要領も参照すること。

ファイル名は、「筆頭著者の姓名.doc（または.docx）

原稿作成のための注意コメントは各自で消去する。

日本の植物園に栽培されている植物の種数

The species number of plants cultivated in the botanical gardens of Japan

著者、所属等が複数の場合、

著者名のあと、および所属等の前に、上付き半角数字を記す。

著者名の姓名、およびFirst nameとFamily nameの間は半角スペース。

植物 太郎1, \*・協会 次郎2

投稿者名または責任著者名のあとに、半角星印（＊）を記す。

著者および所属等が複数の場合、

日本語表記では全角中点「・」、

英語表記では半角カンマ+スペース「, 」で繋ぐ（&は使用しない）。

Taro SHOKUBUTU1, \*, Jiro KYOKAI2

所属がない場合は氏名のみ記す。

1東東大学附属植物園・2道頓堀植物公園

1Botanical Garden, Toto University, 2 Dotonbori Botanical Park

要約：本研究では、○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○の結果、○○○○○○○○○○○○○○○であった。○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○と考えられる。

・要約：150〜300字

・キーワード：あいうえお順。5語程度。全角カンマで区切る。

キーワード：栽培、植物、植物園、種数、日本

SUMMARY：In this study, we examined ooooo ooooo ooooo. Ooooo ooooo ooooo, and ooooo ooooo ooooo. Ooooo ooooo ooooo ooooo, but ooooo ooooo ooooo ooooo. Ooooo ooooo ooooo, and ooooo ooooo ooooo ooooo.

・SUMMARY：200語以内

・Key words：abc順。5語程度。半角カンマ+スペースで区切る。

Key words：botanical garden, cultivation, Japan, plant, species number

———————————————————————————————————————————

\*〒125-0052 東京都葛飾区柴又2-1-1

Shibamata 2-1-1, Katsushika-ku, Tokyo 125-0052

shokutaro@gmailnet.com

　○○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○（花園 2010）。○○○○○○○○○○○○○○○（育成・育種 1998）、○○○○○○○。○○○○○○、（育成ら 平成4；1992）、○○○○○○○○○○（協会2001a、b、Onshitsu & Kyokai 2010）。

1ページ目の最後は、改ページする。

（所属がある場合）

・日本語住所、英語住所、メールを改行して記す。

・単著の場合は、半角星印（\*）は不要。

・住所には、郵便番号・都道府県も含める。

・英語住所の行政単位の表記については、市以下について「ハイフン+ローマ字読み」（-shi、-kuなど）で表記する。

・都道府県については、Pref.は省略し、半角スペースの後に郵便番号を表記する。

（所属がない場合）

・会員種別を記す（正会員、賛助会員、名誉会員）。

・著者の希望により、連絡先を記すことができる。その場合は、上記「所属がある場合」に従う。

・自宅住所等、掲載したくない場合は下記の協会事務局の住所を記載する。

　　〒114-0014　東京都北区田端1-15-11-201

　　Tabata 1-15-11-201, Kita-ku, Tokyo 114-0014

　　bull-jabg@syokubutsuen-kyokaijp

「緒言」の見出しは付けない。

緒言、材料および方法、結果、考察、謝辞、引用文献をもって構成する。各項目の頭に番号は付けない。

材料及び方法

　○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（表1）。【表１挿入】

図表の挿入については、本文の内容を考慮して、希望する位置に【 】にて明示する。

結果

　○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○（図1A）。【図1挿入】○○○○○○○○○○○○、○○○○○○○（図1B）。

　○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○（図2）。○○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○。【図2挿入】

考察

　育種ら（2000）は、○○○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○。○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（Plants *et al.* 2012）。○○○○○○○○○○○○、○○○○○○○○○○○○○○○○○○（Saibai 1980、展示 2005）。

　本研究では、○○○○○○○○○○○○○○のご協力を頂きました。○○○○○○○○○に感謝申し上げます。

「謝辞」の見出しは付けない。「ですます調」でも可。

引用文献は、第一著者名のABC順、年代順に配列する。

引用文献

花園春子（2010）オニバスの開花について．栽培 10: 215-224．

育成大樹・育種花子（1998）ヒゴタイ．協会誌編集委員会（編）．日本の山野草辞典．35-51．日本植物出版社．東京．

育成大樹・温室三郎・園四郎（平成4；1992）日本の植物園．植物出版社．大阪．

育種花子・植木太郎・栽培百合子・園四郎（2000）世界の植物園．東都出版社．東京．

協会次郎（2001a）日本の植物園における集客対策についての研究．日本植物園大学大学院理学研究科学位論文．

協会次郎（2001b）植物園の集客対策の統計学的解析．日本植物園協会誌 28: 100-115.

Onshitsu, T. & Kyokai, J. (2010) The effect of photoperiodical treatment on the flowering of Euryale. Bulletin of Japanese Association of Botanical Gardens 35: 215-224.

Plants, S., Tree, T & Flower, F. (2012). Japanese gardens. Seed, T & Leaf, M. (eds). In: Botanical gardens in the world. pp. 110-150. Toto University Press, Tokyo.

Saibai, Y. (1980) Plant diversity. Botanical Press, Osaka.

展示陽子（2005）コチョウランの栽培におけるかん水方法の検討．ウェブ版洋ラン図説 4: 21-24．＜http://www.aaaa.bbb.cc/＞（2016年10月10日アクセス）

図表の説明文

Webを引用する際には、アクセスした月日を記す。

発行年号は必要に応じて、年号と西暦の並記も可。

日本語文献：発行年は全角括弧内。表題、雑誌名または書籍名、出版社名は全角ピリオドで区切る。

英語文献：発行年は半角括弧内。表題など半角カンマ（またはピリオド）＋スペースで区切る。

図１　花の構造　Ａ：花弁。Ｂ：雄蕊。Ｃ：雌蕊。

Fig. 1 Structure of the flower A: petals. B: stamens. C: pistil.

表１　解析に使用したサンプル

Table 1 List of samples examined

日本植物園協会誌投稿カード

図は、JPEG形式もしくはPDF形式で作成し、ファイル名は、「筆頭著者名（姓名）・図1」、「筆頭著者名（姓名）・図2」とし、拡張子を付ける（JPEG形式では「.jpg」、PDF形式では「.pdf」）。

表は、Microsoft Office Excelファイルとして作成し、ファイル名は、「筆頭著者名（姓名）・表1」、「筆頭著者名（姓名）・表2」のとし、拡張子（.xlsまたは.xlsx）を付ける。

説明文の様式は、本文の様式に従う。

ただし、ひとつの図または表中に、複数の図または複数の表がある場合の説明文では、以下とする。

・日本語では、全角で表記した「A：」「B：」で区別し、それぞれの終わりは全角句点（。）。

・英語では、半角で表記した「A: 」「B: 」（半角コロンのあとに半角スペース）で区別し、それぞれの終わりは半角ピリオド（.）。

図・Fig、および表・Tableの図番号とタイトルはゴシック系フォント(11ポイント)。説明文は明朝系フォント（10ポイント）。

・日本語では、図番号（または表番号）とタイトルの間に、「全角スペース」。

・英語では、図は「Fig. +（半角スペース）＋番号＋（半角スペース）＋タイトル」とし、表は「Table」+（半角スペース）＋番号＋（半角スペース）＋タイトル」とする。

私は日本植物園協会誌に原稿掲載を希望するので、このカードにて投稿します。投稿にあたっては、別紙の「日本植物園協会誌投稿要領」に従います。

　　年　　月　　日

 氏名

以下の欄にご記入下さい。記入漏れがある場合には、研究発表委員会の判断で原稿を受理しない場合があります。

|  |  |
| --- | --- |
| 原稿タイトル |  |
| 原稿区分（いずれかに○） | 　総説　　　特別寄稿　　　特集記事　　　研究論文　　　研究発表要旨（※）　　　調査報告　事例報告　　　実用記事　　　開花記録　　　協会報告　　　その他※他誌に掲載の場合は雑誌名等を記入（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 投稿者名（全員） | 　　 |
| 投稿代表者名 | 　・原稿に関する問合せ等に直接対応いただける連絡担当者です。 |
| 所属機関名 | 　 |
| 住所 | 〒　　　　－ |
| 　 |
|
|
| 電話番号 | 　 |
| Fax番号 | 　 |
| E-mail（PCのみ） | 　 |
| 別刷希望（有償分） | あり（　　　　　　部）　　　　　　　　　　なし　　　　・委員会からの依頼原稿は、無料贈呈分30部を超える部数　　　　・上記以外は、希望する部数　　　　　（初校校正時に改めて注文書を送ります） |
| 所属部会（いずれかに○） | 第１分野 | 第２分野 | 第３分野 | 第４分野 | その他 |
|
| 会員種別（いずれかに○） | 正会員 | 賛助会員（個人） | 名誉会員 | 賛助会員（団体及び法人） |
| 所属機関内校正者氏名記入欄 |  |  |

　　　　　　　　　　※所属機関内校正者氏名記入欄は、投稿原稿の内容をご確認のうえ、自署してください。